

令和4年度日本股関節研究振興財団 股関節国内研修成果報告書

大阪医科薬科大学

若間 仁司

北海道大学

横田 隼一

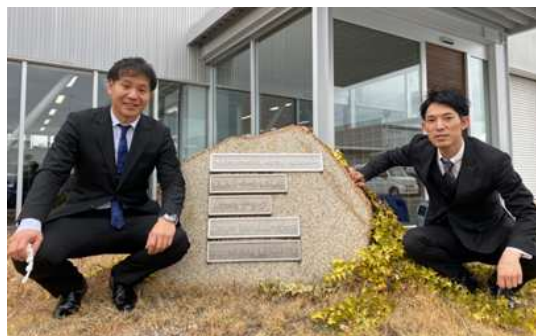
この度、日本股関節研究振興財団のご支援をいただき、2023年1月16日から5日間の日程で国内トップクラスの股関節診療実績を誇る医療機関とインプラント製造工場で研修させていただきました。本研修の成果をご報告いたします。

【帝人ナカシマメディカル株式会社 (岡山県岡山市)】

初日は帝人ナカシマメディカル本社工場とR & D センターを訪問しました。まず、大阪大学工学部中野貴由教授に骨基質配向性についてご講演いただきました。人工関節などに異方性を持たせることで、より一層生体との親和性を得ることができる可能性をわかりやすくご講演いただきました。

その後、実際にインプラントを製造する課程を見学させていただきました。横田が所属する北海道大学がナカシマメディカルとともに共同開発したインプラントや、若間が所属する大阪医科薬科大学で数多く使用しているインプラントの製造過程を目にすることができました。その金属研磨・加工技術の高さは非常に興味深く感じました。

R & D センターでは、研究開発において培われた様々なアイデアに関して、技術者や研究者の皆さんとともに議論を行い、今後の私達の研究へのヒントを得ることができました。



帝人ナカシマメディカル R & D センターにて
(左から若間、横田)

【東京医科大学病院 (東京都新宿区)】

2日目は東京医科大学病院で研修させていただきました。拡張現実(AR)ナビゲーションシステムを用いた人工股関節置換術(THA)を見学させていただきました。正確なインプラント設置が要求されるTHAにおいて、簡便であり非常に有用な手技になりうると感じました。また、大都会新宿区という立地もあり、VIP患者さんへの対応や個人情報管理等にも気が配られている病院システムの構築が印象的でした。人工関節のバイオマテリアルに関して数多くの知見をご報告されており、研究室の見学や研究内容に関してのお話を聞くことができ、大変勉強になりました。



京王プラザホテル東京にて東京医科大学病院の先生方と(前列左から横田、山本謙吾教授、若間、後列左から石田常仁講師、立岩俊之講師、穴戸孝明教授、正岡利紀准教授)

【東京慈恵会医科大学附属病院 (東京都港区)】

3日目は東京慈恵会医科大学附属病院でALSアプローチでのTHAを見学させていただきました。後方アプローチからALSアプローチへと切り替え、手術手技を施設内で確立するまでのご尽力されたお話を聞くことができ、印象的でした。股関節鏡視下手術や股関節周囲骨切り術に関してご講演いただき、大変勉強になりました。また、病院内も案内していただき、手術予定が決まると入院案内から麻酔科受診まで院内を移動することなく手続きを終えることができ、患者さんや医療従事者の負担軽減に工夫がなされていました。



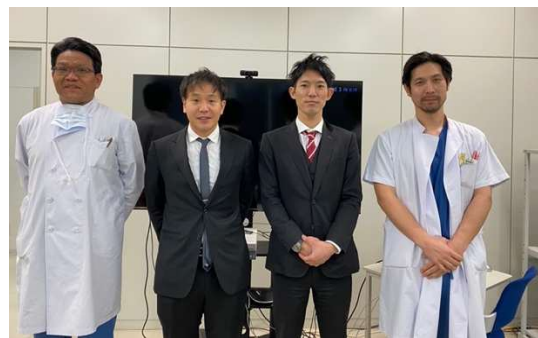
東京慈恵会医科大学附属病院近くのレストランにて(左から横田、天神彩乃助教、藤井英紀准教授、羽山哲生講師、若間、米本圭吾助教)

【船橋整形外科病院

西船橋整形クリニック(千葉県船橋市)】

4日目は船橋整形外科病院で白土英明先生から診療所からはじまり現在の船橋整形外科病院に至るまでの歴史をご講演いただきました。リハビリテーションの様子も見学させていただきました。術後5日程で自宅退院が可能という早期回復スケジュールが可能なDAAアプローチには2人とも大変驚きました。その後は西船橋整形クリニックに移動し、外来を見学させていただきました。人工股関節手術トップクラスの老沼和弘先生が腰痛や膝関節痛など患者さんのあらゆる訴えに対して診療されていた点が印象的でした。

5日目は船橋整形外科病院で実際に手術を見学させていただきました。手術時間が短いために可能となるその手術件数の多さには圧倒されました。また他のスタッフもそれに対応し、手術準備から術後レントゲン撮像までの流れがスムーズに行われ、感銘を受けました。その後、DAAアプローチと帝人ナカシマメディカル UNIVERSIA システムについてご講演いただきました。



船橋整形外科病院にて(左から老沼和弘先生、若間、横田、濱田博成先生)

【謝辞】

この度多大なるご支援をいただき、このような機会に恵まれたこと、親切丁寧に出迎えてくださった研修先の先生方、スタッフの方々に深く感謝申し上げます。この貴重な経験を今後の股関節診療に活かしていきたいと考えております。